

令和7年度の学校評価

本年度の 重点目標	全教職員が多種、多様な情報を共有するとともに、協働し、生徒の指導にあたることのできる体制作りを推進する。 教職員が範を示し、一丸となって、地域から愛される工業高校としての誇りを持った教育活動を推進する。 主体的な学びにより工業の専門知識・技術・技能を身につけた上で、次世代社会の担い手となるよう、心豊かで、崇高な倫理観を備える工業人を育成する。		
項目(担当)	重点目標	具体的方策	留意事項
PTA活動 (総務部)	PTA活動をとおして、本校の教育活動の更なる向上を目指す。	学校に対する意見・要望に耳を傾け、改善を模索する。 各種行事が魅力あるものになるよう工夫し、多くの保護者の参加を促す。	Webページや安心メールを積極的に活用し、本校の情報発信に努める。 保護者が参加しやすい環境の構築を図る。
学習指導 (教務部)	基礎的・基本的な知識・技能の確実な定着を目指して指導に当たるとともに、学ぶことの楽しさや達成感を体得させ、自ら学び続ける意欲や態度を養う。	授業改善に努め、わかる授業の実践に心がける。	学習指導の展開や方法についての研究、研修を推進し、授業改善に努める。
生活指導 (生徒指導部)	生徒の生活リズムを整える指導を継続的に実施し、遅刻の減少を図る。	複数回遅刻をする生徒に対して、早朝登校や保護者連絡などの継続的な指導を実施し、生活習慣の見直しを促す。	担任や各学科と情報を共有し、協力して指導を行うことで、遅刻を繰り返す生徒がなくなるよう、効果的な指導体制を確立し、実施する。
特別活動 (生徒会部)	本校生徒の魅力や活力が、地域や中学生に伝わるよう公式WebサイトやSNSの活用を進める。 ボランティア活動の機会を設定することで、ボランティア精神を育む。	SNSの掲載内容について①学校行事の写真、様子、生徒の活動等を紹介する。②部活動の試合結果、日々の活動などを随時更新する。 本校主催のボランティア活動においては、活動中の安全確保のため監視員の配置やグループ活動で実施する。	SNSに画像を記載する場合は、個人情報保護の観点から、顔が特定できないような写真を選出する。 ボランティア活動においてはより多くの生徒に参加してもらうように周知をする。
進路指導 (進路指導部)	進路行事を通して、進路意識を高め、生徒一人ひとりの進路希望に応じた進路指導の充実を図る。 求人票公開や集計処理等の業務の改善を図る。	学年との連携を密にし、進路に関する情報を迅速に提供し共有する。 求人票受付処理、公開方法を検討する。	外部講師による講話、進路ガイダンスの充実を図る。 進路希望に応じた面談を実施し、きめ細かく指導する。 タブレットを活用し、求人票閲覧や進学情報提供する。
保健・美化 (保健部)	心身ともに健康な生徒の育成を図る。	生徒保健委員会、生徒美化委員会の年間を通した積極的な活動。 相談活動や支援を必要とする生徒への適切な対応と校内連携を実施。	生徒保健委員会、生徒美化委員会による保健活動の充実と校内の環境整備。 SC・SSWの有効的な活用。
図書館活動 (図書部)	図書館の活性化	図書委員による自発的な活動を促し、生徒主体の魅力ある図書館作りを目指す。	図書委員の自由な発想を引き出し、具体的・計画的な活動に繋がるようにイメージさせる。職員及び一般生徒に対する広報活動をさせる。
工業教育に関する活動 (工務部)	学科との連携を図り、進路実現や資格取得など生徒に具体的な目標を持たせる。技術顕彰やジュニアマイスターの取得者数などの向上を図るような体制を充実させる。	検定試験や資格の告知、掲示の仕方を工夫し、多くの生徒に周知する。 技術顕彰やジュニアマイスターについて、わかりやすく案内を掲示する。	検定試験や資格の告知、掲示の仕方を工夫し、多くの生徒に周知する。資格の内容等を生徒に伝える方法を検討する。資格を取る意欲をより多くの生徒に持たせるよう取り組む。
(機械科)	機械科としての知識や技能の確実な定着を目指して指導に当たるとともに、機械加工における安全教育を意識した実習の指導・運営を行う。	機械に関する専門的な知識や技能を身につけさせるために授業展開を工夫する。また、各実習において、不安全行動を説明し、事故を防ぐ。	不安全行動があった場合には、学科内で情報を共有し、再発防止に努める。また、各学年と情報を共有し、生徒に適した指導ができるように取り組む。
(電気科)	知識・技能の確実な定着を目指して指導に当たる。また、安全教育の充実、実習室の整備を意識して実習の指導を行う。	それぞれの教科に合わせた指導方法の研究を行い、実践する。また、日常における実習室の環境整備、それぞれの実習において危険予測と安全作業の指導を行う。	安全を第一として、実習道具や材料の整理整頓、安全に対する生徒の意識向上を目指す。また、専門教科と実習のつながりを考えさせるような指導を行う。
(IT工学科)	IT工学の知識・技能の確実な定着を目指して指導に当たる。	学年、学科と連携を図りながら、生徒指導、学習指導に取り組む。資格取得等を促し、主体的に取り組む姿勢を養う。学科紹介、学校見学会、HPなどを通して、学科の情報を発信する。	学年、学科で連携を図り、生徒の個性に応じた指導ができるように取り組む。広く情報発信を心掛ける。
(エネルギーシステム科)	生徒それぞれの進路実現に向けて、基本的生活習慣の確立と主体性を育てられるような指導をする。	基本的な生活習慣を身につけさせるために、時間を意識させる指導を行う。自分で考えて行動する機会を増やし、主体性を育む指導を行う。	実習や座学内での提出物の期限や遅刻に対する指導はもちろん、普段の会話内でも時間を意識させるような話をする。また、自分で考えて行動できるような状態を設定する。
(エネルギー化学科)	安全教育の定着と工業化学の基礎基本の知識技術ならびに、エネルギー分野の基礎基本の知識技術の充実と工業人として社会に貢献できる人材育成を目指す。	基本的生活習慣から時間、身だしなみ、態度など見直し育成していく。 資格指導や日々のレポートなど、期日までに目標を達成する能力を育成。	クラフトマンⅢやインターンシップなどの行事を活用していくことは引き続き行い、普段の教科指導、実習などの実技指導中の普段からの指導を多くの視点から指導していく。
学年経営 (第1学年)	基本的生活習慣の確立と規範意識の向上を念頭に指導を行う。また高校生活を通して目標を見つけ、その達成に向けて努力する姿勢を養う。	教員側から行動で示して模範となる。学習面のみでなく資格取得や部活動など様々な方面から生徒を見守り、必要に応じて適切な指導を行う。	学校全体で指導を行うことが不可欠である。教員間で情報を共有し連携することで多くの目をもって生徒を見守り指導を行うよう心掛ける。
学年経営 (第2学年)	学習や資格取得に積極的に取り組む姿勢と、進路実現における自己理解と他者との協働を主体的に取り組む姿勢をサポートする。	各分掌と協力して生徒に情報提供を行う。修学旅行やインターンシップなどの学校行事を有意義なものになるようにする。	担任だけでなく関係分掌とも協力して、個々の生徒に合ったきめ細かい指導を行う。
学年経営 (第3学年)	進路実現や資格取得に向けて、主体的に学習する態度の育成をし、集団生活における自己の主体性と協調性の育成を目指す。	社会へ出ることを常に意識させるため、指導し、社会規範を学ばせる。 進路実現に向けて、自分から行動させる。(企業や学校研究・履歴書・面接等)	担任だけでなく、全職員で協力して指導を行い、社会へ出る準備を整える。 進路実現においては生徒のみならず、保護者にも情報提供を心掛ける。
学校関係者評価を実施する主な評価項目		・挨拶、マナーなど基本的な生活習慣の確立に努める。 ・わかる授業の実践により、基礎基本の確実な定着を図る ・いじめの未然防止に関わる適切な対応を図る ・教職員の在校時間の適正化と健康保持に努める	